

## 平成30年4月定例教育委員会会議録

1. 開催日時 平成30年4月27日（金） 15時00分～ 17時18分
2. 開催場所 日野町役場203会議室
3. 出席委員 今宿綾子教育長、西村吉弘教育長職務代理者  
高橋政宏委員、山田めぐみ委員、谷 信代委員
4. 出席事務局員  
教育次長 : 望主 昭久  
学校教育課 : 参事 山添 美実 参事 吉澤 増穂  
生涯学習課 : 課長 日永 伊久男 参事 加納 治夫  
図書館 : 館長 高浪 郁子  
子ども支援課 : 課長 宇田 達夫

|        |   |
|--------|---|
| 今宿 教育長 | ただいまから、日野町教育委員会定例会議を開会します。  |
| 今宿 教育長 | <p><b>教育長 経過報告</b></p> <p>まず初めに、私から4月の報告をさせていただきます。</p> <p>委員の皆様方には、4月2日の辞令交付式、また9日・10日の入学式・入園式、そしてまた11日の県教育行政重点説明会へのご出席を賜りまして、ありがとうございました。学校の方もひと月過ぎ、今日はPTA総会を開いている学校もございまして、順調に進んでいるところでございます。</p> <p>4日は町の教育委員会部局の職員の合同研修会を行っております。</p> <p>また5日、町内の小中学校の初任者研修会を行いました。初任者につきましては、日野中学校が2人、日野小が1人、必佐小が1人、南比都佐小が1人、桜谷小が1人、計6人の初任者を町では迎えております。年々教職員の若返り、若年層が増えてきているわけですが、また一方で、若い力のよさを引き出して育てていきたいと思っております。</p> <p>この日は日野小学校の給食試食会も行いました。ご飯を炊飯し、いろいろな調理器具を新たに設置していただいておりますので、卵焼きに蒸しオーブンを使っていただいたり、新たに設置しました調理器具の運転もしております。出来具合を確かめながら試食をいたしましたけれども、調理員さんの話を聞いておりますと、炊き立てのご飯を提供できるということで、子どもたちがとてもよく食べてくれる、おいしいと言って食べてくれるのがありがたい、嬉しいということです。これまで家から持参してきているご飯の量が大変少なかったというのが気になって</p> |

いるところでしたが、一定量配膳して、それを残さず、おいしいと言って食べているということを聞いております。

また7日でございますが、少年少女のミニスポーツ・カルチャー教室の開講式がございました。スポーツでは10教室、カルチャー教室は12教室ありまして、合わせて500名近くが申し込みをしてくれています。体育館いっぱい子どもや保護者さん、指導者の方に集まってきました、熱気にあふれた開会式となりました。また改めて、地域の方々にこんなふうに見守っていただいて、指導していただいていることに、ありがたく思いました。

また、4月17日全国学力学習状況調査が行われ、今年は理科も入り、国・算・理の3科目の調査がございました。子どもたちが真剣に問題に向かってくれているというのは、大変よい傾向であると思っております。日々の授業のあり方の工夫をしっかりと意識して取り組むこと、基本的な生活習慣を、家庭とも協力しながらつけていくということが必要だと思います。

A問題・B問題、Aは基礎、Bは応用というふうに分けていますが、今年のA問題は、単なる四則計算とか漢字の読み書きではなくて、A問題を解くのにあたって、文章を読み取る力が求められているという思いがしますので、改めて、すぐに成果が見えるものではないのですけれども、文字を読む、読み込むということで「読書」を進めていきたいと思ったところがございます。

19日には「ふるさと絆」のコーディネーターの方々に集まいただきました。委嘱式を行いました。今年は中学校もこの事業に加わるので、この事業を行うにあたっての趣旨、それぞれの家庭や学校や地域の役割というものを確認しながら、特色ある活動が各学校で進められるように思っております。

また21日は女性会の総会、22日が文化協会の総会でございます。出席をさせていただきました。年度当初、5月も含めて各種団体の総会等が大変多く開催されておまして、参加させていただきながら、たくさん関係機関の方々に、学校教育また生涯教育についてもお力をお借りしているということを実感しているところがございます。今後とも皆様のご支援、ご協力をさらにお願ひしながら進めていきたいと思ひました。

以上、4月の報告とさせていただきます。

~~~~~

| 日程 4 経過報告 質疑 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|--------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 今宿 教育長       | 以上、経過報告をいたしました。ご質問などございませんでしょうか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 谷 委員         | カルチャー教室ですけれども、ほぼ 500 名希望者が来られたということですが、人気・不人気みたいなものがあるのか、定員割れとかしている教室はあるのでしょうか。                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 日永 課長        | 3月に各教室の募集をさせていただきました。今年度は 15 教室、途中で 1 つ減って 14 教室の募集をさせていただきました。そのうち 2 教室は応募者がなかったので、最終的には 12 教室となってしまいました。<br>いろいろな分野がありますので、お 1 人だけ参加の教室もありますし、20～30 人という大人数の教室もございます。                                                                                                                                                              |
| 谷 委員         | 例えば生徒さんがお 1 人でも、1 年間開講されるのですか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 日永 課長        | 教室を指導していただく文化協会の方々に、最初から「この教室は何人以上集まらなければ開催しません」という条件をつけておられましたり、その指導していただく方の方針で開催されています。たった 1 人でも開講される場合もあります。                                                                                                                                                                                                                      |
| 谷 委員         | 定員がいっぱいでなければ、途中から参加することはできるのですか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 日永 課長        | はい。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 西村 委員        | ただいまご報告いただいた中で 2 項目にわたる質問ですが、1 つは 4 月 11 日の滋賀県教育委員会主催の県の教育行政重点施策説明会に参加させていただきました。寄せていただいて感じましたのは、説明自体は非常にわかりやすかったと思っております。特に澤教育次長がおっしゃっていた「学ぶ力の向上」の部分で、チェック、アクション、今の現状分析、検討して改善につなげると、こういうことを強調しておられたのですが、聞かせていただいて印象として、そのことはよくわかったのですが、感じますところは、決まっていることを決まっているようにやりなさいよと、かなりその辺が前面に出た、もちろん当然、県教育委員会としてはそのためにその会議をやっておられるわけですからわかる |

のですけども、ただ、現場の状況から考えますと、現場の先生方の自発性とか、現場の中でぶつかってきて、こうしたらいいかなというところから浮かんでくる創造性というものが、大切にされていくのかどうか、ちょっと懸念を持ったところが正直なところでございます。

それは私は素人なりにそう思ったのですが、ただ、あとの方で、例えば近江八幡市の教育長さん、あるいは米原の教育長さんがおっしゃっていましたが、米原市の山本教育長さんの言葉から言えば、本当に学校の望ましい姿というのがイメージが沸かないと、あれを見ていたら、本当に望ましい姿がわからないというような指摘もありましたし、また同時に、もっとシンプルなものにならないかという質問もございまして、あれもやれ、これもやれという、総花的に現場に押しつけられたということに関しては、現場の教育長さんの気持ちとしておっしゃること、私もそうでないかなというふうに感じまして、これからまたいろいろと実際進めていただくうえで問題になることは、また町で問題になることは県にあげていっていただいて、よい方向で進んでいけばいいなと思いました。

もう1つ、説明会の中身の重要な部分で、国の第3期の教育振興基本計画について、文部科学省から来ていただいてお話がありました。人生100年時代、ソサエティ5.0というのですか、超スマート社会と書いてありましたけれども、文明論的な部分でAIの時代、非常に印象深い話でした。

ただ私はこのことで思うのですが、オオカミが来るとかいうことで、大量失業時代だとかいう暗い面がいろいろ言われているのですけれども、AIというのは、人間が今までやってきた部分をAIがやってくれるという部分は非常に大きな進歩ですので、人々の労働に支えられてきたような部分がAIに置き換わることによって、その恩恵がもっとすべての人に行き渡るような具合に世の中が変わっていかないといけないということを強く思ったわけです。そうでないとAIが、単に多国籍企業の儲けの手段になってしまいますと、失業時代と言われても、それはそうなるだろうと思いますので、そうならない方向でみんなが考えていかないといけないなというふうに思いました。

それともう1つ、基本計画の中身を構成していくいろいろな検討の中で、エビデンス・ベースト・ポリシー・メイキングですか、EBPM、エビデンス、中室さんの本を読むと確かによくわかるわけですね。実際、客観的な根拠に基づいて裏付けられた状態、そこからいろいろな施策というのは生んでいかないといけないのだということですね。そういう意

味では単に勘とかそういうことではなくて、科学的な、客観的な根拠に基づく政策立案という部分については、難しい面もあろうと思いますが、それをわかりやすく生かしていけるということでの方針の立案を望むわけです。

ただ、政府が決めた教育振興基本計画については、それぞれの基礎自治体は「それを参酌して」となっていますね。地域の実情に合わせてそれをかみ砕いて、地域に合わせて組み立てろということになっていますから、そういう意味ではよいところは取り入れ、そして取捨選択も許されるのではないかなと思いますので、日野のまちにふさわしい基本計画に仕上げただけであればありがたいなと思います。

もう1つは全国学力学習状況調査、現場ではいろいろ緊張もあったと思いますけれども、これに対して滋賀県では、政治の世界で少し動きが新聞に出ていますね。私、自民党さんが「教育力向上議員連盟」、教育に目を向けていただくこと自体は大変ありがたいし、それをきっかけにあるべき教育ということがいろいろなレベルで論議になっていって、よい方向に向かえばいいと思うのですが、一面ではそれが現場へのプレッシャーになって、大変ご苦勞いただくような局面もあるのではないかなと危惧をいたしております。

それにつけて思いますのは、学力日本一の福井県が、昨年12月に県議会で意見書を採択されているわけですね。ご承知のことだと思いますけれども、そこでは昨年3月に池田中学校の2年生が自殺するという痛ましい事件が発端ではあるわけですが、学力日本一を維持する、それだけが本当にいいのかどうかということでは、県議会自身が大変厳しい、きちんとした意見書をまとめられていると思うのです。子どもたちが自ら学ぶ楽しさを知り、人生を生きていくために必要な力を身につけると、その目的でやっていかないといけない。そして、知事が定める教育大綱が教育行政の指針ではあるけれども、その実現のために具体的な方策までを教育現場に一律に強制し、現場の負担感や硬直化を招くことがないようにということを、意見書の第2項目に書いておられます。

そういう意味では、福井県がずっと日本一を続けてこられたそのことに関して県議会が本来の教育に立ち戻るようにというような意見書を採択されたら、大きなことではないかなと思いますので、そのことも頭に入れてこれから現場、いろいろと大変だと思いますけれども、教育委員として考えますのは、そういう部分で子どもたちが本当に楽しんで学べるような学校にしていきたいなと思います。

学テについてはそういうことで、滋賀の例を申し上げて、福井がそう

|               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|---------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>今宿 教育長</p> | <p>いう反省もしておられると、議会がそうして、反対は1名だけだったそうですが、そうした意見書を採択されたということですので、それも頭に置きながらいろいろ進めていただければありがたいなと思います。</p> <p>ありがとうございます。貴重なご意見、そしてまた学校現場のこともしっかり考えてご意見いただいたと思います。</p> <p>国の教育振興基本計画に続きまして、県でも今年から取り組むということで、私は委員として参加させていただくことになりました。日野町では図書館と学校の連携推進が進められていると県では認識していただいております、今年、読書活動を家庭も学校も関係機関も地域も一緒に取り組んでいこうという動きなどは具体的に参考にしたいと言っていました。</p> <p>それから、先ほどの中室牧子さんの教育と経済学の話、どうしても私たちは経験値でものを言うことがあるのですが、それが本当に数値化されて、根拠があるのかというところに目を向けなければなりません。特に幼児教育の大切さ、そこで力をいれ投資をすることが、その人のこのあとの一生の経済活動が効果的だということです。大学入試前の高3くらいにものすごく経済投資をするものですが、そうではなくて、幼児教育にしっかりと入れなければならないと言っておられます。幼児期に育まなければならない力というのは何かということをしっかり見極めていくことが大切です。</p> <p>そうしてつけた、学びの基礎の力をまた小学校につなげていく、幼・小・中・高の接続が大切です。そういったことも含めながら滋賀の教育をどうしていくかということ、議論して県の第3期計画を作り上げ、それをまた参考にしながら、町の教育基本計画第3期をつくっていきたいと思っております。</p> <p>盛りだくさんの教育改革ですが5年後、10年後、私たちの暮らしや社会がどうなっているのかということは、不透明です。AIが「教育」にどういうふうに入ってくるのかと考えた時に、その子の苦手なところをピックアップしてくれたり、データで出してくれたりするでしょうが、子どもの感情とかに寄り添って考えてあげるとか、コーディネートをしてあげるとかというのは人間教師の役割だと思いますので、AIに任せられる効率的な部分と、「人」でないとできない部分を見極めていくことが課題になると思います。</p> <p>それから「学力とは何か」ということの議論がないままに、平均点が上がっているのが学力があがったというふうな見方、そのためにテスト</p> |
|---------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|--------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>山添 参事</p> | <p>の練習をするとかいうのは、そこはかえって逆効果と認識しています。対策に走るのではなくて、広く子どもにつける学力、学ぶ力というのは何か、「学びに向かう力」きっちりつけましょとしっかりと示していきたいと思います。</p> <p>福井県とかはよいところもいっぱいあると思います。宿題をきちんとするとか、まずは授業に向かう姿勢とかはすごくいいところです。生活調査、意識調査を検証しながら学びの基礎をしっかりとつけ取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>今、教育長から説明がありましたけれども、本当に日々の学習については授業改善というところで、どの教師も校内研究を中心に頑張っています。現場の方では、例えば子どもたちが自分の言葉できちんと自分の思いを伝え、自分の考えていることを表現するという力とか、少人数やグループの中で討論し合うというコミュニケーションの力、表現力を高め合うということ、想像力を高めるためには読書を進めていこうという取り組みを各校で工夫してやっています。</p> <p>ただ、全国学力学習状況調査の基準からいえば、滋賀のポイントはとか、そういうことは出てきますけれども、それはそれで、調査の結果を活かしながら取り組んでいるという。子どもたちが、「やった」「わかった」「できた」というふうな声が聞けるようなことが、我々現場の教師の励みにもなりますし、そのためには何を改善すればいいかということをや日々考えてやっているというのが、今まで現場にいた者の考えでございます。以上です。</p> |
| <p>高橋 委員</p> | <p>先般の県教委の我々への今年度の教育方針等の説明、私は今回、皆さんと一緒に話を聞かせてもらいました。次長さんからは、学校教育の指針の中の4点にわたって説明されました。私の印象としては、前年度ぐらいから猛烈に内容が増えてきたなど。これ、学校現場へどういうふうにおりているのかなど。自分が学校にいた時のことを思うと、今は違うのかも知れませんが、3月下旬に学校に小包でポーンと送ってくると。それを学校の先生に全部配る。第1回目の職員会議でいろいろなことをやるのですが、県の方針はこういうことだということを知ってほしいと。</p> <p>ということは逆に言うと、ほとんどの先生は放ったらかしておいたら全然読まないわけですね。それで私がやっていたことは、ここにまず自分の名前を書いてくださいと。職員会議に持ってきてくださいと。あま</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |

|               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>今宿 教育長</p> | <p>り命令すると、「命令するのか」という反論が来ますので、一番わかりやすいところに置いて、出して、いつでも見られるようにしてくださいよということを言っていました。</p> <p>内容は、今年も教育大綱がこれから変わっていかうとする、そういう時期も絡めてあるのだらうと思いますが、非常にきめ細かく、これでもか、これでもかというような内容豊富過ぎて、学校でどういうふうに消化と言ったら怒られますけれども、どんなふうに出されているのかなということを思いましたね。</p> <p>以前、私が現職の頃もそうでしたけれども、やっぱり、この中で自分の学校として、これを大事にしたいなというのが1つか2つはあると思うのですね。ほかはいつでもよいというわけではないのですが、ここに書いてあるこれは、うちの学校でも大事にしているから、ここをやっぱり重点的にいこうと、そういうふうにしませんかと言って、よく職員会議の中では言っていました。</p> <p>何人かの教育長さんが意見を言っておられました、これ自体は学校の先生向けに書かれてありますので、当たり前と言えば当たり前ではあるのですが、今年も初任者の先生、例年のようにどこの地域でも配置されているわけですが、学校の中で校長先生でも教頭先生でもいいわけですが、管理職の方が教師としての使命感とか教育的愛情とか、「教育」というのはこんなふうに具体的に大事なものだとか、そういうような話を、簡単に言うと職員会議で取り上げてほしいと思います。</p> <p>また、校長会がありますので、説明会がありますから、学校の現場で校長先生が、これはどういうふうに取り扱って、どんな話をこの中からしておられるのかということが、1つの大きなポイントだなと思います。</p> <p>また教育指針は、いつでも取り出して見られるようにというようなことも教育長さんの方で何かの折に話していただければ嬉しいなと思っております。以上でございます。</p> <p>これからどういう力が求められているのか、その理念を1人ひとりに届くようなことが必要です。指導要領が10年ごとに変わりますが、きちんと情報を得られる立場の者がビジョンを示しながら一人ひとりの教員に伝えていくということが必要だと思っています。</p> <p>「不易と流行」という言葉がありますが、これからの時代に合わせた教育は必要だらうと思います。英語とかICT教育とかは必要です。学習環境を整えていかないとイケませんし、人づくりは国づくりなので、</p> |
|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|



|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|        | <p>教員は使命感を持って、愛情と責任を持って取り組んでほしいと思います。</p> <p>~~~~~</p> <p><b>日程5 議第1号</b></p>                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 今宿 教育長 | <p>提案説明をさせていただきました。ご質問等ございましたらご発言いただきたいと思います。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 高橋 委員  | <p>奨学生の選考委員会、当然のことながら、この学生さんですか、奨学金を受ける人の個人情報等々も知りながら進められるわけですが、毎年これは1年任期ですか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 望主 次長  | <p>任期につきましては、5月1日から3月31日までの1年でございます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 高橋 委員  | <p>1年間というのは、何か理由があるのですか。</p> <p>私の理屈ですけど、たくさんの委嘱がいろいろな分野で増えてきていると思います。それぞれの内容は違うわけですが、例えばこういったものの委嘱というのは、1年して、そして次の年はまた違う人になる。それもいいのかもわかりませんが、やはり奨学生を選考する基準等々とかいろいろな状況もある中で、やはりもう少し長く担当することによって、効果があるものではないのかな。そのために委嘱状を出して、この3人の委員さんが関わられると思うのです。</p> <p>否定的な思いで言うのではないのですが、そういうのだったら事務局とか教育委員で、そういうあたりで決めることもできるのではないかなと思うのですが、見解はどうですか。</p> |
| 望主 次長  | <p>確におっしゃるとおり、結構事務的な部分でございます。申し込んでいただくにはある程度条件がございますので、それを満たしていただければ貸すこともできませんので、ある種その枠に収まっておれば、当然条件を満たしておれば事務的に出せるということもございます。ですから、委員さんにつきましても中学校の校長先生、また役場の福祉保険課長、学校教育課の参事ということで、選考委員会は今までやっているのかなと思っています。</p> <p>おっしゃるとおり、奨学金というのは子どもさんに対するものです。長期的な視野に立って見ておれば、一般公募であったり、そういう方で</p>                                                        |

|        |                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|        | <p>もいいのかないということもあるのですが、しごく事務的な部分でございますので、毎年充て職のような形でやっているのが現実かなと思っておりますので、先生が異動されたり、職員が異動したり、そういうことで単年度の委員の任期になっているのかなと、至極事務的な委員会の形態なのかなと思います。率直な感想ですけれども、そこには奨学金でするので申請する方、それをまた第三者的な人がいるという、そういう組織としてなっているのかなという気はいたします。</p>                                           |
| 高橋 委員  | <p>わかりました。</p>                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 今宿 教育長 | <p>ほかに、質問ありますか。</p> <p>~~~~~</p> <p><b>日程5 議第2号</b><br/>(質疑なし)</p> <p>~~~~~</p> <p><b>日程5 報第1号</b></p>                                                                                                                                                                   |
| 今宿 教育長 | <p>提案説明させていただきました。ご質問等ございましたらお願いいたします。</p>                                                                                                                                                                                                                               |
| 西村 委員  | <p>1つ質問させていただきます。共同学校事務室でございますけれども、これに関する業務の監督、サービスに関する監督は、拠点校の校長が司るとなっております。拠点校というのは日野小学校というふうに理解をしております。</p> <p>日野小学校の校長が監督をされるということと、現に共同事務室を運営されます現場の長である室長は、必佐小学校におられるということに関してはちょっといささか、これでいいのでしょうか、疑問を持つのですが、この方々についてということではなくて、室長と監督者との関係をご説明いただきたいと思っております。</p> |
| 吉澤 参事  | <p>ただいま西村委員さんからご質問いただきました。確かに規則上は、拠点校を日野小学校に置くという形でさせていただいております。このことについては、先ほども申し上げましたように、もう1名を置かせていただきたいという要望もさせていただいたところございまして、日野小学校への配置をお願いしようというところございまして、今回</p>                                                                                                      |

|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|        | <p>配置が叶わなかったということから、これまでから事務の職員として各小学校に1名ずつおります職員の中で、指導的な立場で事務をしておりますこの職員につきまして任命させていただきたいというところでございます。</p> <p>今おっしゃっていただいたような命令系統の中で言いますと、若干の今後考えていかなければならない点はあるかなと思いますけれども、日野小学校を拠点とした中で、職員としてはがんばっていただいています必佐小学校の職員を任命させていただきたいというところでございます。説明的に不十分なところがあるかと思いますが、よろしく願いいたします。</p>                                                                                                                               |
| 西村 委員  | <p>ただいまのご説明を承りました。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 高橋 委員  | <p>関連して、よろしいですか。私自身は、昔の話になってしまって記憶が曖昧なところがあるのですが、学校事務の仕事ということで、以前に共同実施にすることができました。つきましては、これに伴って事務職員が1名加配される。そのことと、学校事務の共同というのが、それぞれの学校でいろいろな事務の内容がありますね。大きな目的の1つは平準化だと思うのですが、そのあたりは今、町内の小中学校でこのことを実施してきて、例えば平準化を取り上げた場合、どの辺までできていて、どこら辺を目標にされているのか、どうでしょうか。まず、1人増えているのか、増えていないのか。</p>                                                                                                                               |
| 今宿 教育長 | <p>共同実施については、日野町は県下でも先駆けて取り組んでおり、それがこうしてきちんと認められるようになりました。</p> <p>町の事務員さんたちは、学校と子どものためにという思いや大きなテーマを持っておられ、例えば小規模校で備品などを購入するとかなり高額になるところを、「日野町」として中学校も含めて全体で購入することによって、1人当たりの負担が少なくなるようにしています。例えば卒業証書や出席簿などがそうです。</p> <p>最近、国の方で共同実施との必要性が言われてきています。学校の中の一人職ですので、このような事務室を立ち上げて、初任の指導や共同購入、手当での認定などに共同で取り組んでいるのは、県下でも先進的な事例になっていると思います。</p> <p>今年は中心になってくださる奥野さんが室長であり、室長が在籍する学校の野瀬校長が在籍校の校長として今年度関わっていただいています。</p> |

|        |                                                                                                                                                                                                 |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|        | す。                                                                                                                                                                                              |
| 高橋 委員  | 状況も毎年のごとく変わってきますので、結局のところ、1人加配みたいな形ではもらってないのですね。                                                                                                                                                |
| 今宿 教育長 | もらってないですが、今年も要望していきます。                                                                                                                                                                          |
| 高橋 委員  | 自動的には、もう配置はされないですね。                                                                                                                                                                             |
| 今宿 教育長 | 予算の都合で。                                                                                                                                                                                         |
| 高橋 委員  | ぜひ来年は、枠組みがあって加配をもらえるという条件は、まだ地方行政法が生きていると思うのですよ。だからぜひお願いします。                                                                                                                                    |
| 今宿 教育長 | そこは要望していきますし、実績も残していった方がいいと思います。                                                                                                                                                                |
| 望主 次長  | たぶん平準化というのは、1人の事務員さんが同じような仕事量になるということも平準化だと思うのですが、その点はなれないのかなと。やはり小さな小学校と大きな小学校では事務員さんの仕事量は変わってくると思います。ただ、そこへ加配などで日野小学校につけば、拠点の小学校が各小学校の事務員さんへアドバイスなどは十分できるかなという思いですけれども、今回は県の加配ができなかったということです。 |
| 高橋 委員  | でも、この枠組みの中でうまく運用できるところはしていただいて、来年はぜひお願いしたいと思います。                                                                                                                                                |
| 今宿 教育長 | ありがとうございます。ほかにございませんでしょうか。                                                                                                                                                                      |
|        | ~~~~~                                                                                                                                                                                           |
|        | <b>日程 6 今後の予定</b>                                                                                                                                                                               |
|        | 質疑なし                                                                                                                                                                                            |
|        | ~~~~~                                                                                                                                                                                           |
|        | <b>日程 7 その他（1）教科書選定</b>                                                                                                                                                                         |

|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 高橋 委員  | <p>この内容は、私はだいたいわかっているのですが、この仕事をされるのに、今回も半年くらいだったか、人がつくわけですか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 今宿 教育長 | <p>今年は、小学校の教科用図書が4年過ぎますが、指導要領が32年から始まりますので、26年度に使っている教科書をもう1年使う、つまり現行を5年間使うということになります。</p> <p>中学校の道徳の教科書、それから特別支援学級の小・中学校の教科書の一部変更について協議していただくということで、事務的には負担はあるといえませんが、現人員で進めさせていただきます。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>~~~~~</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 高橋 委員  | <p><b>高橋委員 意見交換</b></p> <p>提案と言いますか、意見交流と言いますか、教育委員の皆さんには事前に連絡をさせてもらっていません。事務局の方には「時間を少しいただきたい」ということを話をさせてもらいました。</p> <p>前回の年度当初の時の話と似ているところもありますけれども、私が講釈するまでもなく、事務局の方々は十分ご承知のことではあるわけですが、学校では今、年度当初にそれぞれ市町の教育方針等が出まして、最後、学校評価が平成29年度版はいただいております。かなり細かいことが書いてあるところを読ませてもらいました。</p> <p>そうしますと、ちょっと連絡もさせてもらいましたけれど、学校教育の基本は、どこももちろん同じで、項目は1番確かな学力、2番、豊かな心、こういうふうにならなくて、2番目のところに、豊かな心があつて、そこに自尊感情の高揚とか人権意識とか、そういうものが出ております。</p> <p>ずっと見てみますと、日野町教委が立ち上げて力を入れている「きずな事業」は非常に評価がある中で、豊かな心の中で自尊感情なり人権意識とか、こういうものをもっとやらないとあかんというような文言が、校長の学校評価、あるいは学校改善、あるいは関係者評価等々にも出てきているわけです。</p> <p>それで、この29年度の学校評価の報告書を置いておいて、じゃあ、29年度の教育方針はどうだったかと言いますと、8ページに学びという、まず大きな項がありまして、「町の人々が共に育つ社会をつくる生涯学習を振興する」という中で、「学びの中の社会的課題に対応した学習の推進」ということで、「人権学習推進」ということが書かれていて、</p> |

そして、学校評価も見ていただいているのではなかろうかと思っています。

今年度平成30年度の日野町教育方針のところは、そこら辺が少し変わっておりまして、学校教育の重点目標の1番目の「子どものたくましく生きる力を育む」の「知徳体」の「徳」のところ「豊かな心を育む」というところに、「普通の言葉で人権の意義や人権課題について正しく理解し……」と書いてありますが、ここは具体的にこういうことをするとかいうことを書くところと違いますから、それぞれの学校で考えていただくということでもいいのかなと思うわけですが、やはり結局、ちょっとそこが、去年の日野町教育方針も、今年の日野町教育方針も、書きぶりは違いますけれども、最終的に学校評価、報告書にあがってくるとやはり、大きな枠組みでいうと人権に関するところ、もっと高揚させていかないといけないと。あるいは関係者評価からは、ある学校では厳しい意見も出ているわけであります。

それに即応するような形でのベクトルが、日野町の教育方針の中には、もうひとつ明確に出てないなど。どちらかという、語弊のある言い方かも知れませんが、人権教育は生涯学習ですと。もちろんそうですけれども、学校教育で当然やっていかなければならないわけでありますので、そのあたりがどういうふうに学校評価の報告書の中の29年度版の最終報告、これが学校の業績になると思うのですね。どういうふうにこれを認識されたのか、それは平成29年度の教育方針に対して、それぞれの学校で、この中の人権に関するそういうもの、こういう課題がどこの学校でも大なり小なり目立つ形で出ております。どういう認識をされているのかなということが1点です。

もう1点は、去年か一昨年か、日野町いじめ防止基本方針を前参事からいただいたわけですが、まだ直さなければならないところがいろいろあるのだということです。例えば愛荘町の事例とかもいろいろあるわけですが、これは皆さんご存じだと思いますけれど、26年2月、まだこれは十分ではない。ページは打っていませんけれど、いじめ防止対策という組織があるけれども、組織はどうやって動かすのかと。それをいじめ防止の基本方針の中には、どこの市町でもそういうことは出ているわけですが、そういうところ。あるいは日野町でいうと、日野町学校子ども支援連絡協議会（仮称）とありますけれども、これからどういうふうになっているのか、どういうふうに設置されようとしているのか、もうされないのか。

それから、関連して、平成30年度の教育方針には、新たに体罰防止

|              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|--------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>山添 参事</p> | <p>マニュアル、教師力に関わるところで、体罰防止マニュアルに基づいて指導、コンプライアンスの徹底とかありますけれども、これはどういうふうにもまず今年度されようとしているのかについて、2点について思っておられることをお聞きしたい。前回できなかったもので、わかる範囲で、お考えの中の範囲でお聞きしたいと思っております。</p> <p>昨年度の学校評価を、お電話をいただいてから見させていただきましたというところですが、私も3月末までは近江八幡で2年、日野町から出させていただいて、就かせていただきましたが、子どもたちの自己肯定感というか、自尊感情というのはなかなか高まっていかないというところに、みんな悩みを持っているわけです。</p> <p>子どもたちが毎日充実して学校にやって来てほしいわけですが、いろいろな背景を背負って個々の子どもたちがやって来るわけです。やる気いっぱいやって来る子もいれば、おうちでのいろいろな出来事を背負って来る、あるいは疲れて来る子どももいる、食事もできないで来る子どもがいる。いろいろな子どもがいる中で、学校にいる間は安心・安全で、楽しかったなという思いを持って帰ってほしいという思いを持って日々取り組んできたわけです。</p> <p>日野町の学校評価を見ていまして、いじめの件数は、今まで重大と思っただけでなくて、本人が自覚して「嫌だ」と思ったらあげていくので、件数としては高くなっていますし、小学校では高学年にも見られますけれども、スマホとかネットのことで、中学校ではそういう問題も抱えています。学習の中、道徳とか縦割り活動とか、あらゆる手段を使って子どもたちが充実して日々を送れるように思っているのですが、なかなか簡単にはいかないというところで、その取り組みはまだ進めていかなければいけないなということを、どの学校の職員も管理職も悩んでいるところだと思います。</p> <p>高学年あるいは中学校の中では、評価がCとついているところもありますし、今後あきらめずに、粘り強く取り組んでいく部分で30年度もやっていこうと思っております。</p> |
| <p>高橋 委員</p> | <p>今おっしゃったのは、なるほどと思うわけですが、やはり教育委員会としてのある一定のベクトルを出してほしいと思うわけです。小学校・中学校の校長先生の評価なり、あるいは関係者評価も、そういう点についてははしないといけないというのは感じられますし、私も地元に住んでいますから、そういう話も聞きます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |

|               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>今宿 教育長</p> | <p>それについて言うと、教育委員会、そういうところの分野、それをどういうふうにベクトルとして学校に出していくのかというのは、私は日野町教育委員会の1つの課題ではないかなと思っています。これは生涯学習課が言っている人権教育の取り組みとかいうような話とは別に、学校教育における人権にかかわる、例えば日野町の先生の中で人権の第3次答申とか、あるいは県が出している人権教育推進プランをどれだけ読んでいただいているだろう。私は日野中にいたのですけれど、ほとんど関心ないか、知らないと言っていました。今はその辺がどうなっているのか。</p> <p>県教委の人権教育課の事業にうちも乗っていますよね、財源もついてますし、当時は私も立場上悩んでいた時もあったわけですが、そういう方面について、教育委員会として、学校の先生にお任せだったら、言葉は悪いけど進んでいかないと思うのですね。県内いろいろ、私は以前の職場ではいろいろ情報もあったりする中で、そういうところがベースで子どもたちの生きる力の元になっていると。そこをベースにして「今日来てよかった」「1時間授業してよくわかった」、先生も「1時間授業して充実した」と、そういうところにつながっていく。そのことによって自己肯定感なりが段々高まっていくのではないのかなと思うわけです。</p> <p>だったら、人権教育について教育委員会としても何らかの形でベクトルを出して行ってほしい。現状がダメだとは決して言っていません。どちらかという、言い方が悪いかもわかりませんが、力の入っていないような内容の印象があるところもあります。そうでなくて、もうちょっと、学校現場の校長先生の人権に関する諸課題を克服していくための方策というのか、そういうものが出てこない、最後の段階で学校評価が出ますけれど、変わらないと思うのです。その辺どういうふうに、再々聞くのは申し訳ないと思うのですけど。</p> <p>人権教育というのは、教育活動のベースであり、生活のベースでありますので、最も中心にすえていかなければどんな学び活動をしたとしても身につかないと思いますし、それは受け止めさせていただいております。</p> <p>各学校ではそれぞれ年間計画を立てまして、人権週間の中でいろいろな取り組みをしておりますし、人権集会を開いて人権について考えるなど計画に基づいて取り組んでいます。日野町におきましては、中学校に加配の教職員がおり、日野中学校と必佐小学校で自尊感情育成事業に取</p> |
|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|



|               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|---------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>高橋 委員</p>  | <p>り組んでいます。また県教委の人権教育課の訪問の機会に人権主任が集まり各学校の取り組み、課題や子どもの実態の研修もしております。</p> <p>今、学びの質という言葉が言われています。学校でどういうことを取り組んでいるのかということ、いろいろな方に知ってもらわないといけないとも思います。指針をきちんと打ち出すことが必要であり、それを見て教職員も一人ひとりが自分たちが何をしているのか、何をすべきかというところがわかるだろうし、もちろん教育委員会、教育委員さんたちもそういうものを見てわかるだろうし、また保護者さんもわかる、そういうものが要るのではないか。ベクトルを示す必要があるとおっしゃっていただいたと思います。</p> <p>はい。ですから、端的に言うと日野町には3人の、昔の話で言うと同和加配がおられますから、例えば町内で、この12月の人権週間はこういうことで学習をやっているとか、来てもらうとか、意識して取り組んでいく。いろいろなことがみんな人権教育に関わっているという、薄められてしまうわけですね。かといって、特化せよとは私は言いませんけど、ぜひともそのところの指導、事務局でいったらどの方がそういう分野の指導に当たるのか、参事なのか、わかりませんが、ぜひともそれは今年はお願ひしたいと思っております。</p> <p>もう1点のこれは、教えてください。これは今どうなっていますか。</p> |
| <p>山添 参事</p>  | <p>日野町、26年度の2月の状態ですけれど、そこに県がいろいろ出しているアクションプランもありますし、あと、30年2月に日野町は「いじめの疑いを深刻化させないために」というのがあります。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| <p>今宿 教育長</p> | <p>教育委員会で「いじめを深刻化させない」という本、逮捕案件があった時に、「いじめ」に特化しないでしょうという冊子を作っています。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <p>高橋 委員</p>  | <p>それは知らないのです。26年版の改訂版があるわけですね。行動プランというか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| <p>今宿 教育長</p> | <p>警察の方とか児相の方とか、各外部の方に集まっていただくような協議会をつくってござりまして、単なるケース会議だけで終わらないで、子どもたちのトラブルをいじめにさせないために、いじめを深刻化させないために、声掛けや関わりはどうしたらいいかという、マニュアル版をつくって先生方に渡しています。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |

|        |                                                                                                                                                                                                                                                      |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 高橋 委員  | それはここで公開されたのですか。私が欠席していたのですか。                                                                                                                                                                                                                        |
| 今宿 教育長 | これはこの2月か3月に作りました。これはお渡ししてないと思います。                                                                                                                                                                                                                    |
| 高橋 委員  | ぜひ、それこそやっぱり、我々は教育委員会ですから、こんな言い方をしたらいけませんけども、教育委員会と教育委員、事務局は明確に違いますから、                                                                                                                                                                                |
| 今宿 教育長 | このつくり上げたものをまた協議にかけさせていただくというふうにさせていただきます。具体的な手引書にしたいと思います。                                                                                                                                                                                           |
| 高橋 委員  | その時やっぱり、核となるものが必要なんですね。いろいろな立場の人がいるかと思えますけれど、これで言うと、少年センターとか警察とか専門員さんとかの意見ももちろん参考にされると思いますが、やはり教育委員会が主体的につくらないといけません。                                                                                                                                |
| 今宿 教育長 | 教育委員会が主体的につくったものについて、各方々からご意見をいただいて、例えば法的にはこういう考えたらどうだろうとか、ご意見をいただいたものとして仕上げています。いろいろ範囲が広いので、試行錯誤でつくったところでもあります。いじめというのは大きな社会問題でありますので、教育委員会で諮るということは必要なことだと思います。                                                                                    |
| 高橋 委員  | 諮るというより、まずは教育委員会、事務局、教育委員でつくる。よくあるパターンとしては、関係者に委嘱状を出して、そして集まってもらってそれをつくってもらうと。それは経験上、馴染まない。やはり当該市町の事務局と教育委員がまずはその骨子についてどういうふうを考えるか、それぞれ考えも違うと思えますし、その辺の理解をしながらつくって行って、周りの人の意見を聞いてつくっていくという段取りを組んでいただきたい。そのことは、例えば体罰防止マニュアルも、そういう手法を取ってほしいなと私は思っています。 |
| 今宿 教育長 | そうしますと、他にいろいろなものをつくっているのですが、そこに教育委員さんに入っていただくということですか。                                                                                                                                                                                               |

|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 高橋 委員  | 私の感覚で言うと、すべては言いませんけど、体罰防止マニュアル、新しいものがまたできるわけですね。                                                                                                                                                                                                                                  |
| 今宿 教育長 | 例えば危機管理マニュアルなど各学校でそれぞれにマニュアルを作り、各校が持っているのです。                                                                                                                                                                                                                                      |
| 高橋 委員  | それは町もつくっているでしょう？                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 今宿 教育長 | 完成したものを見ていただくというよりは、作成している時点で委員さんにご同席いただく方がいいのでしょうか。                                                                                                                                                                                                                              |
| 高橋 委員  | 効果的な内容にするためには、そのことを申し上げたいわけです。すべてとは言いません。                                                                                                                                                                                                                                         |
| 今宿 教育長 | いじめと人権についてですか。                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 高橋 委員  | 例えばこれでいったら、今30年2月が出たのですか。                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 今宿 教育長 | いじめ防止基本方針に基づいたマニュアルは、教育委員会が示したものをそれぞれの学校がつくっています。ただ、もっと具体的に先生方に役に立つものをつくらうということでこれを2月に作成しました。<br>特に重点として取り組んでいるものについてはご理解していただくという努力をする必要はあると思います。                                                                                                                                |
| 高橋 委員  | ぜひそれはよろしくお願ひしたいと思います。結構です、それで。                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 西村 委員  | 私から申し上げるのも何なんですけど、1つは今お話に出てまいりました平成30年の日野町教育指針、この前に論議しましたね。そのあと若干字句等を直されたと承っておるのですが、その仕上がったものを1冊ずつ頂戴したいなと思います。<br>2つ目、高橋委員は本当に長く教育者として現場におられて道を究められた方でございますので、私とその論議に入るという意味ではございませんけれども、教育委員会の中の執行機関として、そこに教育委員として、基本的に教育の世界に携わってないような我々も含めた委員がそこに加わらせてもらって教育委員として存在しているということは、レ |

|              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>高橋 委員</p> | <p>一マンコントロールと言いますか、素人というとおかしいですけども、教育界にいたものでない者の目で、自分なりの社会経験なり、また保護者として立場から、事務局としてご検討されたことに対して意見を述べる、あるいはまた要望を述べるような機関であると思いますので、あまり細部を論議する場に入るのがいいのかわるいかということにつきましては、いろいろなご意見があろうと思いますが、私は一歩離れて教育行政のことに关して考えさせていただく立場だということで臨ませていただくのがいいのではないかと思います。</p> <p>高橋先生からいろいろ貴重なご意見を承ることについては私も勉強させていただく立場で大変ありがたいことと思っております。</p> <p>たまたまつくば市の教育長であられる門脇厚司さんの書かれた本をこの間、図書館でリクエストしまして借りて、全部読みましたけれども、門脇先生は教育者としてその道の超ベテランであられる、学長まで務められた方が茨木県的美浦村の教育長として赴任されて、その中の体験を書かれた本です。</p> <p>現在はつくば市の教育長をなさっているようですが、そこにはいろいろなことが書いていまして、私もこれだけの本の中で教育委員としていろいろさせていただいている中で、これはこうなんだと思えることがいっぱい書かれていて、勉強になりました。ただ、あれは教育者として歩まれた中で、いろいろお感じになられたお話を読ませていただいて、それなりに自分なりに勉強させていただいたうえでここに臨ませていただいているということでございますので、門脇先生のあの本は感激しているのですが、ただあれをそのまま私が代弁するとか、そういうことにはならない話で、そういう意味ではここで幅広い論議ができることは結構だと思いますけれども、その辺のところはひとつ、まあまあいわば、委員としての、事務局との間の一種の緊張関係というか、お互いにけん制し合いながらの部分もやっていきたいし、その中でまた良い道ができてくるのかなと思ひまして、ちょっと一言感想だけ、失礼なことを申し上げてたらすみません。</p> <p>誤解を与えたかもわかりませんが、一緒に作業するとか、そういうことを言っているわけではございません。ここで配っていただけのでしたら配っていただいて、ポイントだけでも言っていただけると、またそれぞれのお立場でよりよい、向上するご意見をいただけると思ひますので、ぜひよろしくお願ひをしたいと思います。以上でございます。時間を取っていただきまして、ありがとうございました。</p> |
|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|        |                                                                                                                                                                                                                                                    |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 望主 次長  | <p>今、高橋委員さんが言ってくださった、いじめ全般に関する、まだ、申し訳ございません、我々も正直なところ4月に1日に替わったばかりところもございますので、そこら辺、一定整理をさせていただいて、2月にできているこのようなものについても、もう少し最終確認させていただきますし、西村委員が言ってくださった30年度の教育方針の字句修正が最終渡せてないということも非常に大事なことでございますので、そこはしっかり見ながらさせていただきたいと思っております。どうぞよろしく申し上げます。</p> |
| 今宿 教育長 | <p>ありがとうございました。<br/>以上を持ちまして、4月定例会を終了します。</p> <p>前記会議の顛末を記載し、その相違ないことを証するためここに署名する。</p>                                                                                                                                                            |